

平成29年度 第1回教育課程編成委員会 報告書

1. 開催日時

第1回 平成29年4月17日(木) 10:30~12:30

2. 開催場所 松本理容美容専門学校 1階校長室

3. 委員

委員	所属企業・団体名	役職名	概要
久保 竹志	有限会社ターバン	代表取締役	長野県内に美容室5店舗 経営・講師として活躍
竹田 寛子	長野県美容業生活衛生同業組合	国家試験委員	有限会社タケダ理美容室店長 後継者として活躍 松本市内3店舗経営(ブライダル含む)
百瀬 昭江	松本理容美容専門学校	校長	
小原 一正	松本理容美容専門学校	教務主任	
小口 忍	松本理容美容専門学校		

4. 議題

- ① 校長挨拶
- ② 委員自己紹介
- ③ 教育課程編成委員会設置の説明と義務の概要
- ④ 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規定について
- ⑤ 教育課程編成委員会会則について
- ⑥ 28年度自己評価点検・自己評価・学校関係委員会報告について
  - ・学校評価10項目を1年ごと4段階で評価していく
  - 1. 自己評価→内部委員による 2. 学校関係者評価→学校関係者及び学校選任関係者
  - \*全てが4でなく、年によっては3になる項目もあり、改善できるよう取り組みをする。
- ⑦ 教育課程の現況
  - ・カリキュラムの確認
  - ・職業実践専門課程の推薦科目について説明(平成28年度より取り組み)
    - ネイル(滝川からの講師)・メイク(アリミノからの講師)
    - コミュニケーション(コミュニケーション・アイからの講師)
    - カラー(大和インターナショナルからの講師)

※外部講師による授業、検定等の取り組み。専門的知識、興味を持たせて取り組む。

※時代に合った技術習得を考えて、授業を考えていくことも大切。

⑧ 学生現況

- ・就職状況（就職地域・在職年数等）
- ・奨学金を借りている学生状況
- ・美容師だけでなく、目標は専門分野（アイリスト等）に就くための手段としている学生も増えてきている。
- ・インターンシップなどで、目標とする職業への意欲付けとなれることを期待する。

⑨ 業界の現況

（竹田先生）美容師という職業において、まずは、3年を目安として各技術の習得を目指してほしい。

（久保先生）在職率を上げるためにも、雇用側が福利厚生等を充実させることが急務である。

各種取得技術を活かしていく取り組みも必要である。

⑩ 施設見学

⑪ その他

実践で役立つシャンプー30時間のカリキュラム内容に対し、サロン側からの意見も含め、内容を検討することにした。

⑫ 次回 第2回教育課程編成委員会 平成29年7月26日（水）10：30～

平成29年度 第2回教育課程編成委員会 報告書

1. 開催日時  
第2回 平成29年7月26日(水) 10:30~12:30
2. 開催場所 松本理容美容専門学校 1階校長室
3. 出席者 (有)ターバン取締役 久保 竹志先生 (有)タケダ理美容室 竹田 寛子先生  
松本校校長 百瀬 昭江 教務主任 小原 一正 美容教員 小口 忍
4. 議題
  - ①校長挨拶
  - ②職業実践課程の推薦科目について(中間報告)
    - ・コミュニケーション学(サービス接客検定3級対策・履歴書記入方法・社会人としてのマナー等)
    - ・メイク・ネイル・カラー・カット・授業予定・履修状況・職員研修についての報告
  - ③学生アンケート結果報告
    - ・全体の進学理由の意識の変化
    - ・奨学金等借りる学生が増加傾向
  - ④高校生の進路ガイダンスからみる美容関連進路希望の状況
    - ・ブライダル・ヘアメイクへの興味関心が高まっている傾向。その反面、理美容師の資格取得に対する興味が希薄傾向。華やかさ・表面的な興味。
    - ・進路ガイダンスに卒業生も参加出来れば、美容の魅力をより一層伝えられるのでは。今後、サロン側との協力体制が今まで以上に必要になってくる。
  - ⑤インターシップ制度について
    - ・31年度より実務実習の日数が増加(1年次1月末・2年次4月末)
    - ・評価項目について提案
      - 現行の評価表をより明確化
      - 実習生にネームをつけさせてほしい
      - ネイル・メイク検定等の取得資格を明確にすることで、実習時により内容の濃い経験ができる
      - 事前指導として、挨拶・返事・清掃・時間厳守等、技術以外の面をしっかりと指導してほしい
  - ⑥平成30・31年度からの産学連携授業について
    - ・座学3:実習7の割合で90時間の実習が増加。
    - ・美容サロンの技術を授業に導入することで、より実践的な内容を学ぶ機会になる。  
カット30時間(1年次4~6月)・学校支援サロンオーナーによる授業導入  
2年次選択授業の導入

## 5. 学生の現況報告

- ・自分だけが秀でる事に対して抵抗感のある学生が増えてきている。また、頑張れる学生とやる気のない学生との差が顕著になっている。
- ・就職活動において、周りに流されている学生がいる。内定獲得が目標達成と考えており、就職後の意識が希薄である。
- ・サロンとして、協調性があり、サロンの考え方に合わせられる人材を求めている。  
学校として、相手の立場を考えられる教育・発信力をつけられる指導をしてほしい。

## 6. その他

- ・シャンプー授業の在り方（60時間）  
シャンプー力が不足と感じている。テスト等でサロンの方（卒業生など）に確認してもらう形式  
または、実務実習中に確認してもらう機会を設けてほしい。

## 7. 次回 第3回教育課程編成委員会 平成30年 3月23日（金）10：30～

## 平成29年度 第3回教育課程編成委員会 報告書

日 時：平成30年3月23日（水）10：30～

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）ターバン取締役 久保竹志先生 （有）タケダ理美容室 竹田寛子先生  
百瀬校長 小原教務主任 小口 忍

### 【議 事】

#### 1、校長挨拶

委員の任期3年のうち1年目が終了しました。サロンとの連携を強め、より良い学校教育ができるようにしていきたいと思っている。

#### 2、職業実践課程の推薦科目について（中間報告）（別紙1参照）

座学の時間より、実践実習の時間が増えていくので、選択実習授業の充実をしていく。H30年度の入学生が2年生の時から実施。授業科目の5科目については企業との打ち合わせ、研修など連携で行っていく。（パーマ選択はサロンワークに基づきデザイン、薬品選択などより実践に基づく内容にする。）

- ・竹田先生より：5科目は現場において必要とされている内容である。基本をしっかり身につけさせる。また、最終的には国家試験を合格することも念頭に置いた上で選択内容を精査し充実させる。
- ・久保先生より：サロン側と連携した授業を通して、サロンワークの楽しさや新しい技術を伝える内容にしていくことが大切。また、それにおいては見極めを行い、到達度を確認させていく。

#### 3、自己評価からの重点目標について（別紙2.3）

- ・29年度実施報告
- ・30年度実施提案・目標

校長より：ホームページで内容が閲覧されるため、委員の名前が掲載されることを了承いただきたい。自己評価、学校評価とも共通認識の上で実施している。

#### 4、卒業生勤務状況調査結果（資料1）

目標をもちしっかり取り組んでいる卒業生と、そうでない学生の差がはっきりしている。

遅刻等、学生時代からの癖が社会に出ても改善されていない

また退社理由を考えると、美容師としての明確な目標が無く、他の理由づけで退社していく卒業生が多い。

- ・他業種との違い、美容の楽しさをしっかり伝えられるようにしていく必要が学校もサロンもある。

#### 5、29年度就職状況について（別紙参照）

県外就職 約25% 残り 県内就職

#### 6、その他

次回 30年度第1回教育課程編成委員会 平成30年7月27日（金）